

教科	国語	科目	現代文B	学年	3年(普通科 探究類型)	単位数	3
教材	教科書	高等学校 改訂版 標準現代文B			出版社名	第一学習社	
	副教材	常用漢字クリア (尚文出版)					

学習の目標	1	近代以降の様々な文章を読み、国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成します。
	2	ものの見方や感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって人生を豊かにする態度を養います。
	3	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月	第Ⅱ章 世界を見つめる	○随想を読んで、筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取ります。	中間 考查	
	5月		○筆者の体験を迫体験することで、現代社会について考える糸口とします。		
	6月	新しい視点 小説を読む (一)	○論理展開に注意して評論を読み、扱われている問題を的確に捉えます。 ○虚構性に注意して小説を読み、そこに描かれた世界を的確に捉えます。		期末 考查
	7月	詩を味わう	○詩を読んで、鑑賞力を高め、豊かな感性を養います。		
2 学期	8月	新しい視点	○筆者の主張を参考にしながら、日常生活で起こる関連性について考えを深めます。	中間 考查	
	9月	生への模索	○文章全体をよく読み、その論理的な構造と論旨の展開について把握します。		
	10月		○文章全体の論理的な枠組みを理解します。		
	11月	小説を読む (二)	○小説を読む楽しみをかみしめ、より深い鑑賞力と読解力を身に付けます。		期末 考查
	12月	小説を読む (三)	○主人公が、苦悩し、自分の過去を振り返り、その原因を求めていく過程を把握します。		
3 学期	1月	詩を味わう	○詩を読んで、鑑賞力を高め、豊かな感性を養います。	学年末 考查	
	2月				
	3月				

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的・課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。				
学習へのアドバイス	1 授業の予習と復習を必ず行いましょう。 2 指示を聞いて集中して授業に臨みましょう。 3 小テストや定期考查の準備を十分に行いましょう。				

教科	国語	科目	古典A	学年	3年(普通科 探究類型 理系)	単位数	2
教材	教科書	古典A			出版社名	東京書籍	
	副教材	これからの古典文法〔改訂版〕(尚文出版)、短期集中シリーズ 漢文ノート(桐原書店)					

学習の目標	1 古典を読む楽しさを味わい、我が国の伝統と文化に対する関心を深めます。 2 古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させます。 3 伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深めます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月	物語 伊勢物語	○話の展開をたどりながら、和歌に込められた登場人物の心情を読み取り、歌物語の世界に触れます。	中間 期末 考查
	5月	漢文 故事と寓話	○寓話作品の読解を通して、漢文への興味・関心を高めます。	
	6月	歴史 大鏡	○『大鏡』を読み、描かれた様々な人物像を読み取り、ものの見方・感じ方・考え方について理解を深めます。	
	7月	評論・随筆 風姿花伝	○古人のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間の生き方やあり方を考察します。	
2学期	8月			中間 期末 考查
	9月	漢文 孔子と子路	○古代中国の思想を通して、人間についての思索を深めます。	
	10月	物語 大和物語	○登場人物の心情を読み取り、和歌の修辞についての理解を深めます。	
	11月	源氏物語	○『源氏物語』の作品世界に触れ、古典に親しむ態度を養います。	
	12月	漢文 漢の高祖と韓信・張良	○『史記』に取り上げられた人物についてその人となりに触れ、作品世界の面白さを読み取ります。	期末 考查
3学期	1月	評論・随筆 玉勝間	○筆者の考える「学問の道」とはどのようなものか読み取り、「学問」について深く考える。	学年末 考查
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。			まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、小テスト・課題やノートなどの提出物・授業態度などを考慮して総合的に算出します。				
学習へのアドバイス	1 授業には予習をして臨みましょう。 2 予習段階で自らの考えを持ち、積極的に授業に参加することで、自らの考えを更に深めましょう。				

教科	公民	科目	政治・経済	学年	3年(普通科 探究類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 新政治・経済			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新政治・経済資料集2023(第一学習社)、ワークブック政治・経済(愛媛県高教研地歴・公民部門編)					

学習の目標	1 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めます。 2 現代における政治、経済、国際関係について客観的に理解します。 3 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育みます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法	○民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解します。 ○日本国憲法の成立過程を把握するとともに、基本的人権や新しい人権について理解を深め、その本質を学びます。	中間 考查  期末 考查
	5月			
	6月	第2章 現代の国際政治と日本	○国会、内閣、裁判所などの政治機構に触れながら、主権者としての政治に対する関心を高めるとともに、それぞれの役割について理解します。 ○国際政治と国内政治の違いや、国際法や国際裁判の意義を理解します。	
	7月			
2 学期	8月	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質  第2章 国民経済と国際経済	○冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに、冷戦終結後の世界がどのように変化したのか理解します。 ○資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較しながら、現代政治の特質について理解します。 ○国民所得の構成や景気変動、経済成長について、諸資料を利用して、日本と諸外国の現状を比較します。 ○国際経済に関する基本的な概念や理論を理解します。 ○為替相場のメカニズムについて把握しながら、円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解します。	中間 考查  期末 考查
	9月			
	10月			
	11月			
3 学期	12月	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題	○現代社会の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、様々な角度から考え、客観的な立場に立って望ましい解決の在り方を考えます。	学年末 考查
	1月			
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の方法	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を探究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断してその過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業ノート作りを丁寧に行いましょう。分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞やニュースなどで、時事問題に興味・関心をもちましょう。			

教科	数学	科目	数学探究	学年	3年(普通科 探究類型 理系 選択)	単位数	6
教材	教科書	数学探究		出版社名	今治南高等学校		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列についての理解を深めます。 2 応用する力の向上を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画		
1学期	4月 第1章 関数と方程式(数I) 第1節 方程式と不等式 第2節 論理と集合	○数学Iの内容について復習し、その理解を深めます。	中間考査		
	5月 第3節 2次関数と2次不等式 第4節 図形と計量 第5節 データの分析				
	6月 第2章 図形の性質(数A) 第1節 場合の数と確率			○数学Aの内容について復習し、その理解を深めます。	
	7月 第2節 図形の性質 第3節 整数の性質				期末考査
	8月 第3章 図形と方程式(数II) 第1節 式と証明 第2節 複素数と方程式				○数学IIの内容について復習し、その理解を深めます。
9月 第3節 図形と方程式 第4節 三角関数 第5節 指数関数と対数関数					
10月 第6節 微分法と積分法					
11月 第4章 ベクトルと数列(数B) 第1節 ベクトル 第2節 数列	○数学Bの内容について復習し、その理解を深めます。				
12月 第5章 総合演習	○数学I・A・II Bの発展問題や融合問題など様々な総合問題を解くことで、高校数学のまとめを行います。	期末考査			
3学期	1月		学年末考査		
	2月				
	3月				

評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列の考え方に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列における数学的な見方や考え方を身に付けている。	関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等に当たって、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	---

教科	数学	科目	数学探究	学年	3年(普通科 探究類型 理系 選択)	単位数	6
教材	教科書	数学探究			出版社名	今治南高等学校	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列についての理解を深めます。 2 応用する力の向上を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画		
1学期	4月 第1章 関数と方程式(数I) 第1節 方程式と不等式 第2節 論理と集合	○数学Iの内容について復習し、その理解を深めます。	中間考査		
	5月 第3節 2次関数と2次不等式 第4節 図形と計量 第5節 データの分析				
	6月 第2章 図形の性質(数A) 第1節 場合の数と確率			○数学Aの内容について復習し、その理解を深めます。	
	7月 第2節 図形の性質 第3節 整数の性質				期末考査
	8月 第3章 図形と方程式(数II) 第1節 式と証明 第2節 複素数と方程式				○数学IIの内容について復習し、その理解を深めます。
9月 第3節 図形と方程式 第4節 三角関数 第5節 指数関数と対数関数					
10月 第6節 微分法と積分法					
11月 第4章 ベクトルと数列(数B) 第1節 ベクトル 第2節 数列	○数学Bの内容について復習し、その理解を深めます。				
12月 第5章 総合演習	○数学I・A・II Bの発展問題や融合問題など様々な総合問題を解くことで、高校数学のまとめを行います。	期末考査			
3学期	1月		学年末考査		
	2月				
	3月				

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
評価の観点	関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列の考え方に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列における数学的な見方や考え方を身に付けている。	関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等に当たって、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	---

教科	理科	科目	物理	学年	3年(普通科 探究類型 理系 選択)	単位数	4
教材	教科書	改訂版 物理			出版社名	数研出版	
	副教材	アクセスノート物理(実教出版)					

学習の目標	1 身近に見られる物理現象に興味・関心をもつ。 2 観察・実験を通して、物理学を探究する能力と態度を身に付ける。 3 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解する。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動	○速度・加速度について学びます。 ○落体の運動について学びます。	中間考査  期末考査
	5月	第2章 剛体	○剛体にはたらく力について学びます。 ○剛体の重心について学びます。	
	6月	第3章 運動量の保存	○運動量と力積について学びます。	
		第4章 円運動と万有引力	○運動量保存則則について学びます。 ○等速円運動について学びます。 ○慣性力について学びます。	
7月	第2編 気体のエネルギー 第1章 気体のエネルギーと状態変化	○気体の法則について学びます。 ○気体の分子運動について学びます。		
2 学期	8月	第3編 波 第1章 波の伝わり方	○波と媒質の振動について学びます。 ○正弦波の伝わり方について学びます。	中間考査  期末考査
	9月	第2章 音の伝わり方	○音の伝わり方について学びます。	
		第3章 光	○光の性質とレンズについて学びます。 ○光の干渉と回折について学びます。	
	10月	第4編 電気と磁気 第1章 電場	○静電気力と電場について学びます。 ○コンデンサーについて学びます。	
	11月	第2章 電流	○オームの法則について学びます。 ○直流回路について学びます。	
	12月	第3章 電流と磁場 第4章 電磁誘導と電磁波	○電流のつくる磁場について学びます。 ○電流が受ける力について学びます。 ○電磁誘導の法則について学びます。 ○交流の発生について学びます。	
3 学期	1月	第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核	○粒子性と波動性について学びます。 ○原子の構造について学びます。	学年末考査
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	物理的な事物・現象に関心や探究心を持ち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	物理的な事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物理的な事物・現象に関する観察、実験などを行い基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・実験ノート、及び授業に取り組む姿勢を考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 授業に集中して取り組みましょう。 2 問題集を活用し、知識の定着を図りましょう。 3 定期考査には全力で臨みましょう。			

教科	理科	科目	化学	学年	3年(普通科 探究類型 理系)	単位数	4
教材	教科書	高等学校 改訂 化学			出版社名	第一学習社	
	副教材	化学基礎・化学問題集 (高教研理科部会化学部門編)					

学習の目標	1 化学的事物・現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察・実験を行い、化学的に探究する能力と態度を育てる。 2 化学の基本的概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1学期	4月 第三章 無機物質 第1節 非金属元素の単体と化合物	○非金属元素の単体や化合物の性質について学びます。	中間考查	
	5月 第2節 典型金属元素の単体と化合物	○金属の単体や化合物、金属イオンの性質について学びます。		
	6月 第3節 遷移元素の単体と化合物	○遷移元素の単体や化合物について系統的に理解し、検出方法や分離方法について学習します。		
2学期	7月 第四章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と構造 第2節 脂肪族炭化水素 第3節 酸素を含む脂肪族化合物	○有機化合物の一般的な性質や構造を学びます。	期末考查	
	8月	○有機化合物の分類の方法を学び、炭化水素、アルコールとエーテル、アルデヒドとケトン、カルボン酸、油脂等について学習します。		
	9月 第4節 芳香族化合物	○芳香族化合物の特徴と性質について学びます。	中間考查	
	10月 第5節 有機化合物と人間生活	○医薬品や染料、洗剤など有機化合物と生活との関わりについて学びます。		
	11月 第五章 高分子化合物 第1節 天然高分子化合物(糖類)	○糖類やアミノ酸、タンパク質の構造や性質について学びます。また酵素や核酸など生体内における化学変化についても学習します。		期末考查
	12月 第2節 天然高分子化合物(タンパク質) 第3節 合成高分子化合物	○合成繊維や合成樹脂の構造と性質について学びます。		
3学期	1月	○機能性高分子化合物や合成樹脂の処理・再利用について学習します。	学年末考查	
	2月			
	3月			

	関心・意欲・態度	思考・判断	観察・実験の技能・表現	知識・理解
評価の観点	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查と授業態度、課題、ノートなどの提出物状況を総合的に評価します。
-------	-------------------------------------

学習へのアドバイス	1 授業には予習をして臨み、疑問点を授業で解決しましょう。 2 分からないところは科目担当の教員に積極的に質問に行きましょう。 3 問題集を活用して復習し、知識の定着を図りましょう。
-----------	---

教科	理科	科目	生物	学年	3年(普通科 探究類型 理系 選択)	単位数	4
教材	教科書	高等学校 改訂 生物			出版社名	第一学習社	
	副教材	改訂セミナー生物基礎+生物(第一学習社)、生物基礎実験ノート・問題集(高教研理科部会生物部門)					

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1章 細胞と分子	○様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解します。 ○呼吸によって有機物からエネルギーが取り出される仕組みを理解します。 ○遺伝子を扱った技術について、その原理と有用性を理解します。 ○減数分裂による遺伝子の分配と受精により多様な遺伝的な組合せが生じることを理解します。 ○細胞の分化と形態形成の仕組みを理解します。 ○配偶子形成と受精及び胚発生の過程について理解します。	中間 考查
		第2章 代謝		
	5月	第3章 遺伝情報の発現		
	6月	第4章 有性生殖		
		第5章 動物の発生		
2 学期	8月	第6章 植物の発生	○生殖と発生に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、生物学的に探究する能力を高めます。 ○植物が環境変化に反応する仕組みを理解します。 ○外界の刺激を受容し、神経系を介して、反応する仕組みを理解します。 ○刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解します。 ○個体群とその変動について理解します。 ○生物群集の成り立ちについて理解します。	中間 考查
	9月	第7章 植物の環境応答		
	10月	第8章 動物の反応と行動		
	11月	第9章 個体群と生物群集 第10章 生態系 第11章 生物の進化		
	12月			
3 学期	1月	第12章 生物の系統	○生命の起源と生物進化の道筋について理解します。	学年末 考查
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	生物や生物現象に関わり、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	理科の見方・考え方を働かせ、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	日常生活や社会との関連を図りながら、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 授業は集中して臨むこと。また、その日のうちに復習をしましょう。 2 問題集を活用し、知識の定着を行いましょ。う。 3 定期考查には全力で臨みましょう。
-----------	---

教科	保健体育	科目	体育	学年	3年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。 2 公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高めます。 3 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。 ○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。 ○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	
	5月	2 陸上競技		
	6月	3 球技Ⅰ		
	7月	4 体育理論		
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。 ○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	
	9月			
	10月	6 陸上競技		
	11月	7 球技Ⅱ		
	12月	8 体育理論		
3 学期	1月	9 球技Ⅱ	○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。	
	2月			
	3月			

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解
評価の観点	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の強力的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするために各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技能(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価の方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4つの観点で総合的に評価します。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することによって行います。			
学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図りたくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。			

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学年	3年(普通科 探究類型)	単位数	4
教材	教科書	New Discovery English Communication III		出版社名	開隆堂		
	副教材	コーパス3000 (東京書籍) スランブル英文法・語法 Basic (旺文社)					

学習の目標	1 英語を読んで、情報や書き手の意向を理解する力を養います。 2 読んだ内容について、相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けます。 3 英語学習を通して、日常的な話題等に関する自分の意見を英語で表現する態度を身に付けます。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1学期	4月 Lesson 1 Festival in the World!	○各国のお祭りを通して、異文化理解を深めます。	中間考査  期末考査
	5月 Lesson 2 One Red Paper Clip	○カナダの青年の物語を通して、英字新聞の文体を読み取ります。	
	6月 Lesson 3 Mother to Birds	○オーストリアの動物行動学者の代表的な研究「刷り込み」を読みます。	
	7月 Lesson 4 The 20-Second Rule	○日常生活の様々な場面で役に立つ「20秒ルール」はどのようなものか読み取ります。	
2学期	8月 Lesson 5 That Night Changed My Life!	○一夜にして時の人となった英国の歌手の苦難の生活を読み取ります。	中間考査  期末考査
	9月 Lesson 6 How to Build a Dinosaur	○古生物学者のプレゼンテーションを通して、恐竜を現代によみがえらせることができるか読み取ります。	
	10月 Lesson 7 Hot Lunches in Mumbai	○インドの弁当配達人の驚異的なシステムとはどんなものか読み取ります。	
	11月 Lesson 8 Saving Orphaned Animals	○ケニアで動物の孤児院を運営するダフネ シェルドリックの活動を読み取ります。	
3学期	12月 Lesson 9 What is Needed for Success?	○カナダのアイスホッケー選手、モーツァルト、ビートルズ、ビル・ゲイツの例を基に、成功に不可欠な要素を探ります。	学年末考査
	1月 Lesson 10 Amazing Grace: Song to Soul	○「Amazing Grace」の歌詞誕生に秘められたエピソードを読み、人権の大切さを学びます。	
	2月 3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	英語を読む活動を積極的に 行い、内容についても積極的に コミュニケーションを図ろうとする。	自分の解釈が聞き手に 伝わるように適切に英語 で表現する。	様々なジャンルの英語を 読んで、必要な情報や相手 が伝えたいメッセージを理 解する。	学習の内容の語彙が身 に付き、論旨の展開が理 解できる。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、授業に取り組む態度・小テスト・課題等を考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習、復習を自主的に行い、積極的に音読や辞書を使った学習をしましょう。 2 板書事項は確実にノートに書き留め、重要事項が分かるようなノートを作成しましょう。 3 リズムやイントネーションに注意して何度も音読し、基本的な語彙を身に付けましょう。
-----------	---

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年	3年(普通科 探究類型 理系)	単位数	2
教材	教科書	Revised BIG DIPPER English Expression Ⅱ		出版社名	数研出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。 2 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理的に書く能力を養います。 3 日常的な話題について、自分自身の考えなどを整理して英語で発表する姿勢を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	PART 1 Lesson 17 Taking Notes	○効果的なノートの作成をペアで考えて発表します。	中間 考查
	5月	Lesson 18 Dreaming of Space	○仮定法の表現を使って表現します。	
	6月	Lesson 19 An Android Like You	○人造人間がいれば、どんなお願いをするのかを考えます。	
	7月	Lesson 20 I Left My Smartphone	○スマートフォンの重要性について考えます。	
2 学期	8月	Lesson 21 Student Council Election	○生徒会について考え、積極的に参加するにはどうすればよいのか考えます。	中間 考查
	9月	Lesson 22 Think Green PART 2	○環境問題について、グループで考え、発表します。	
	10月	Lesson 1 What's Your Favorite Dish?	○好き嫌いの表現を学び、お互いの好き嫌いを発表します。	
	11月	Lesson 2 A Guitar Concert	○勧誘・招待・期待の表現を学びます。	
3 学期	12月	Lesson 3 Uniforms of Casual Clothes?	○希望・欲求の表現を学び、お互いの夢を発表します。	期末 考查
	1月	Lesson 4 Studying Abroad 練習問題	○計画・意図の表現を学びます。	学年 末 考 査
	2月			
3月				

	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の観点	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	/	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 予習、復習を行い、積極的に声に出して音読しましょう。 2 板書事項は確実にノートに書き留め、重要な所が分かるノート作りをしましょう。 3 表現に必要な基本的な語彙、語法、構文を身に付けましょう。			